

市の政 おおの

53. 1. 1

No.284

賀 春

透明な中で
神は
いま
恵まれた新しいものを
産みおとした

うぶごえが
雲を突き抜けた

(写真は建設省 真名川ダム工事事務所提供)

明けましておめでとうございます。

市民の皆様にはご健で昭和53年の新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、石油ショックを契機とした長い構造不況から抜け切らないうちに円高不況が重なり、わが国は戦後最大の経済危機に見舞われました。政府は内閣改造を行ってこれに対処するなど波乱に満ちた年でありました。

さて、わが大野市におきましては幸い皆様のご協力を得て有終東小学校の着工、林業振興センター、清掃センター、駅東公園等が完成し、地下水対策についても地下水保全条例を制定して強力に推進することといたしました。また、待望の建設省直轄の真名川ダムが完成するなど市政の伸展をみておりますことは感謝にたえません。

本年の景気、財政の見通しは昨年にも増して厳しいものが予想されますが、えと（干支）はウマ年に当たりますので数々の障害物を跳び越えてゴールに有終の美を飾るたくましい馬にあやかり、苦しいときにこそ飛躍を目指してがんばって参らねばならないと思います。

4月1日からは待望の清掃センターが運転を始めまた、有終東小学校が開校いたします。限られた財源を有効に生かしながら市民生活に密着した生活環境の整備、ほ（圃）場整備の推進、繊維産業の振興に最大の努力をするとともに、上水道の建設に着手して参りたいと存じます。今後とも市政進展のために各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

大野市長

寺島利鏡



あけましておめでとう

明けましておめでとうございます。

皆様とともに新しい年を迎えることが出来ましたことは、誠に喜ばしいことと存じます。

今日のわが国の経済情勢は誠に厳しく国際収支の大幅黒字に対する外圧は日増しに募り、円高・不況による倒産が相次いでおります。

これらの暗雲は地方自治体の上にも大きなのしかかり、財政経済上一段とその困難さを増すものと予測されます。

時あたかも、地方自治法施行以来30年を経、地方自治体の果たすべき使命と役割はいよいよ重大さを増しております。

このようなときに当たり、未来の展望の上に立って大所高所から物事を判断する政治感覚をもって、多様化する住民要求を冷静に受けとめ、真の住民福祉を模索し、じっくりと腰をすえて事に当たり百年の大計を誤ることなく次代に継承すべく、心を新たに努めたいと覚悟しております。当面する当市の課題は地下水の保全、生活用水の確保にあると存じます。市民生活にふさわしい清れつで豊かな水が安定して供給されるよう、万全の対策を確立しなければなりません。

これが実現のために、皆様のなご一層のご理解とご協力をお願いし、新年のごあいさつといたします。

大野市議会議長

奥村忠光



12月定例市議会

水道建設の特別会計設置

第169回大野市定例市議会は、12月16～23日の8日間開かれ「一般会計補正予算案」「水道建設事業特別会計予算案」など、17議案が審議され、原案どおり可決、承認されました。

一般会計では歳入歳出にそれぞれ1億2,227万円を追加。主なものは水道建設事業特別会計への繰出金2,650万円。人勧に準ずる人件費増7,855万円。ほ場整備補助増831万円

広域農道県工事負担金1,311万円などです。新たに設けた水道建設事業特別会計では歳入歳出に7,051万円を計上し、市街地の水道設計と建設工事を進めています。

冬の地下水対策

真名川に河道用水流す

この冬の地下水ピンチを乗り切るためのかん養対策として、12～2月の間、笹生川ダムから真名川に河道用水を特別放流することが、12月5日関係者の話し合いでまとまり、現

在実施されています。

真名川ダムの貯水が完了することしの7月からは、真名川に河道維持用水として毎秒2¹/₂の放水が始まりますが、この冬の井戸枯れに間に合わないため、建設省真名川ダム工事事務所、福井県、北陸電力、真名川土地改良区の協力により、今回の特別放流が実現しました。

スマイル

『馬清水』

ウマかったなあーあの水は
——馬

公害防止に万全を期す

清掃センター本体が完成

二、三月は試運転
四月から業務開始

昨年10月15日から工事が進められていました。大野市清掃センターの本体が12月に完成しました。

総事業費は約7億円、1日8時間に25トンのゴミを焼却する炉2基と、10トンの不燃物を処理することが出来

る破砕機、プレス機を備えています。

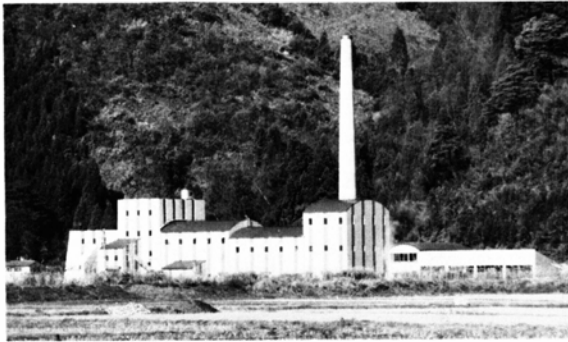
この施設の特徴は、公害防止に万全を期したことです。悪臭をなくするためにエアーカーテン、自動噴射装置を取り付け、ばい煙をなくするために巨額の金を投じてマルチサイクロン、電気集じん機を設置、さらに騒音防止には防音壁を設けて、外部への音は50ホーンに、汚水は自動汚水装置、浄化装置を使って施設の外へは流さないように工夫されています。現在、道路や構内の舗装、

それに給水施設づくりが進められており、2・3月は炉の試運転をして全体の調整が行われます。

4月からはお待ちかねの村部も含めたゴミ収集が始まり、このセンターで処理されることとなります。



電気集じん機など 公害防止の機械が設置された



7億円かけて完成した市清掃センター

昭和52年あれこれ

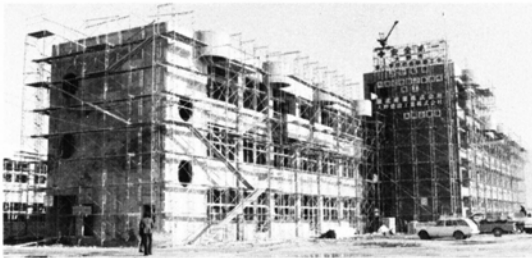
有終東小建設に着工

施設、事業の完成多かった年

昭和52年は厳しい財政状況の中でしたが、大野市清掃センターはじめいろいろな施設、事業が完成した年でした。

いま一度、主な出来事を振り返ってみましょう。

- 〔1月〕 井戸枯れ 829戸
- 〔2月〕 3日真名川用水路の取水協定調印



工事が進む有終東小学校

- 〔3月〕 23日鞆掛、上黒谷土地改良区事業完成 28日精神薄弱者更生施設「むつみ園」完成 31日県営真名川発電所完成 31日さくら公園完成

- 〔4月〕 1日有終花園オープン 11日大野公共職業安定所新庁舎完成 21日宝慶寺で第19回福井県緑化大会 30日大野気象通報所廃止
- 〔5月〕 23日福井県歩こう大会
- 〔6月〕 29日し尿処理場ボイラー火入れ
- 〔7月〕 5日上庄農協カントリーエレベーター完成 10日参議院議員選挙 18日有終東小学校建設に着工
- 〔8月〕 1～16日第10回城まつり 8日し尿処理場前処理施設工事に着工
- 〔9月〕 8日開成中スクールバス購入 市街地各地で流雪溝工事開始
- 〔10月〕 4～30日松丸館跡発掘調査 12日第18回北陸三県特殊教育研究大会 24日真名川ダム完成 30日除雪グレーダー購入
- 〔11月〕 1～3日第11回文化祭 12・13日第9回農業祭 9日地下水保全条例が制定 16日地下水最低位6.18m 26日下丁土地改良区完成 30日駅東公園完成
- 〔12月〕 10日し尿処理場前処理施設完成 22日林業振興センター完成 14日市清掃センター本体完成

馬にあやかり 活気ある年に

産業界
代表

新春
に
語
る

ことしはウマ年です。ことわざに「良馬は決してつまづかず」というのがありますが、この馬の力強さ、速さにあやかり活気のあるよい年になってほしいもの。そこで市内の各産業界の代表の方々にことしの願い、見通しそして大野の課題などを語っていただきました。

いる実務内閣には一日も早くこの危機突破の糸口を見いだしてもらい、新春に光を添えてほしいものです。



大野市の商工業界も、昨年「忍」の一言に尽きますが、その中で織物業界は企業の努力とジョーゼットクレープという特産品のため、他の産地に比べますとかなりよい状況にありました。また、商業では市民の購買力は横ばいですが、市内での購入率は増える傾向にあり、ことしへの明るい材料になっています。

商工業に関するこれ等の問題や傾向を踏まえながら、将来は商業では

各商店街ごとにショッピングが楽しめる街づくりを進めなければなりません。それには、専門店の壁を取り払い、点から面になるような商店街づくりをすることだと思います。

産業には人が必要です。しかし、大野には人はいてもよい職場がないと言われていてます。たしかに、男子が一生を託して働ける職場が少ないことは事実です。商工会議所では、近年地元や県内就職者が増えるという好ましい傾向にこたえるため、企業誘致により一層努力してまいります。ことしはウマ年ですから、千里を駆けて多くの課題を解決、と意気込みたいのですが、世の中は減速経済時代です。

見通しは長期にもって、1歩1歩確実に馬足を進めるよう、心掛けたいものです。

男子雇用の企業 誘致に一層努力

大野商工会議所会頭

松田確太郎さん

昨年は経済の低迷に円高が加わり、実に厳しい年でした。期待されて

56 篠座神社絵馬堂



神馬

人々の深い信仰を得ている篠座神社に、神馬(木製)が奉納されています。

日本では古代から馬は神様の乗り物であるとされ、人々は「神霊をまつるため

に生きた馬を神に献上、その力の及ばざる人は木にて馬を造りて献



る。是又及ばざるものは馬を画て献」と古書にもありますが、境内の絵馬堂内の神馬は「神無月には神のお供で出雲へ毎年行った」等々、里人には色々の話が伝わっています。

神馬の奉納者は幕末の商人三輪伊輔氏です。

以前は神馬の周囲の板戸・壁床板の上まで里人たちの祈りの絵「小絵馬」が所狭くと並んで

いたものですが、戦後いつしか見られなくなってしまいました。

追われる立場の大野 大切な新製品の開発

大野織物業協同組合

理事長 齊藤 政雄さん

大野市で生産されている合織織物は高級婦人服地になるジョーゼットクレープが主であり、実に全国生産高の60%を占めていると推定されますが、昨年は円高と発展途上国の追い上げなどが激しく、輸出はそれらの影響を受けて厳しい年でした。

新年を迎えた今、政府にまず解決してもらわなければならないのは、円高・不況の危機感の一掃で、この

問題が解決されない限り秩序ある安定輸出のルールも敷けないのが実情ではないでしょうか。



一般に「大野は特殊織物だから競争力が強い」と言われていますが、安閑としていたら大変なことになりますね。現に韓国などでは、日本製品並みの織物を安く生産し輸出しています。

大野の業界は追われる立場で、これからは、輸出先や国内消費者のニーズをいち早くつかみ、「差別化素材」を使ったジョーゼットクレープを開発していかなければ、さらに発展することは難しいでしょう。

このためには、いままでの賃織り体制から脱皮して、大野の業者が一丸となり自主的な生産を目指すことが大切です。

繊維業界には、ことしも難しい問題が山積していますが、俊足の「ハイセイコウ」のようにその障害を跳び越え、実りある年になるよう、努力したいものです。

米の生産調整に対処 克服は特産品の生産

大野市農業協同組合長

水葺原 登さん

ことしは農業にとって試練の年になるでしょうが、俊馬にあやかり、その力強さで難問を克服したいものです。

農業を取り巻く状況は実に厳しく特に米の生産調整は昨年より2倍になる見込みで、各農家は減反に対処しながら生産所得を確保し、さらに伸ばさなければなりません。

この克服の道は、第1に、転作物としてイチゴ、里芋の奨励特産物、また麦、大豆、飼料の特定作物の生産を盛んにすること、第2は、米作の技術の向上で、量よりも質を重視して酒米やコシヒカリなどの良質米

を作ることだと思います。

農協は各農家経営をバックアップするため、種子の確保、農産物の契約栽培などを積極的に進めていきます。

第3は、米の消費拡大で、栄養価やうまさの点でパンにまさる米を学校給食に取り入れてもらうことです。

日本人がうまい米を主食にする、この当然のことがうまくスタートする年になるよう、がんばりたいと思います。



治山治水と財産づくり ことしも「造林」を進める

大野市森林組合長

三橋 光蔵さん

大野市の山林は4万5,000㏎もある広大なものです。この自然を巧に生かすのが林業で、1サークル40～50年と息の長い地道な仕事です。

それだけに、変化の激しい現代社会からは敬遠されがちな面もありま

す。例えば、造林では多額の投資をしても金になるのは一生に一度あるかなしかですから、せっかく山を持っていても雑木林のままという所があちこちで見受けられます。

でも、喜ばしいことに、近年は自然に親しむ、「自然を愛する」風潮から造林への関心が高まりつつあります。

市の森林組合では、発足当初から「林業の基礎は造林である」との考えでみなさんに植林をお勧めし、分取造林などの方法を採用し、毎年約300㏎の造林をしています。

だが、大野市は山林面積が大きいこともあって、他の市町村に比べて造林率は低い状態です。



「山に木を植える、このことは、個人の財産づくりでもありますが、それ以上に治山治水その他公益的な役割をもっている大切な仕事であります。

造林にも人件費の高騰、間伐木の採算割れなど多くの問題を抱えていますが、ことしは馬の「勇み」にあやかってまい進したいと思います。

水道のはなし

⑩配水 その2

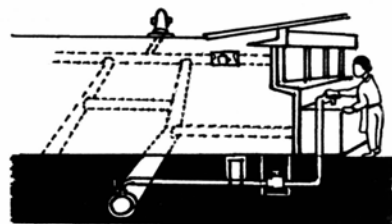
水道の水圧は全配水区域を通して均等であることが理想です。

このため、市街地の道路に埋設される配水管は、相互に細目状に連絡していわゆる管網を形成し、各管路の流量と水圧を適当に保ち、停滞や故障による断水が少ないように設計されています。

配水管には铸铁管、モルタルライニング管、石綿セメント管が使われ、1～3㏎の深さに埋

没されます。

配水管の付属設備として、消火せんとは各種の弁があり、消火せんは路上に立っている地上消火せんとは地下消火せんがあり、市街地の各所に配置されています。



各種弁には、制水弁、排気弁、排泥弁、逆止め弁があり、制水弁は管を開閉する弁で起点、交差点、分岐点などの要所にあつて、事故の際断水地域が少なくすむように配置されています。排気弁は管内の空気を抜き、排泥弁は管の低所にたまるどろろを排出、逆止め弁は水の逆流を防ぐものです。

て、事故の際断水地域が少なくすむように配置されています。排気弁は管内の空気を抜き、排泥弁は管の低所にたまるどろろを排出、逆止め弁は水の逆流を防ぐものです。

こよなく愛され



ひと昔前まで馬は生産に欠くことの出来ない大切な動物であり、その威勢のよさは人々からこよなく愛されてきました。さらに「神のお使い」だとする宗教的な見方から、貴ばれてきた動物でもあります。

この馬も現在市内には1頭もいません。ことしはウマ年ですので、遠い昔からの人と馬の係わりを知るのも有意義です。そこで、この糸口として「馬」事象を拾い、5人の方にお話をいただきました。

られます。

昔、農家で馬が飼われていたころ馬の守り神として多くの人々から信仰されてきました。

また、この仏様は百日ぜきを治されると言われ、近年まで病いの子供さんの手形を作り、親子共々お参りする姿をよく見かけました。

今でも、豆、ニンジン、お線香、などが供えられてあり、多くの信者がおられます。

米沢たまえさん（木本 58歳） この観音様は昭和32年以前は、現在地から東へ約100mに入った深い林の中におまつりされていたのですが、木本土地改良事業で、今の所に移転されたのです。このときから、私がお世話するこ

とになったのですが、この観音様がいつ頃にまつられたのかは明らかではありません。



今も信者が多い馬頭観音

馬頭観音

信仰された馬の守り神 子供の百日ぜきも治す

市道木本線の「大榎」の東側に1坪ぐらいの小さなお堂があります。これが馬頭観音様で、高さ約70cmのシャクダニ石に彫られたご本体は馬頭をいただいて憤怒の相をしてお

ごしゃんばば

御所五郎丸の馬場の跡

中山 気一さん（蕨生 68歳）

蕨生の県道五条方松原出勝山線沿い市農協中休出張所北側一帯は、昔から「ごしゃんばば」と言われています。

「ごしゃんばば」とは「御所が馬場」が変化したもので

鎌倉初期この地方を治めていた御所五郎丸の馬場だったという言い伝えがあり、五郎丸の墓も以前はこの馬場から約500m北にあったのですが現在は土打に移されています。

私が子供のころの50~60年前、中休は五、六戸しかなく、あたり一帯は無数の塚と雑木林の寂しい所でした。「御所が馬場」はこの塚群の中にあり、東西180m、南北120mの千草が一面に生えた広場で、春には薄赤い花の「五郎丸藤」も咲きました。昭和40~46年の蕨生・塚原県営総合開拓でこのあたりは一変し、現在は水田が広がっています。



市農協中休出張所北側が馬場の跡

貴ばれた動物、

馬の血取り場

春の健康診断
歯焼き血抜き

佐々木
常太郎さん
(中保 80歳)
中保に「馬の血取り場」という所がありますが、この名の場所は農村ならどの部落にもあると思います。

冬の間、馬屋につながれていた馬の身体検査をした場所で、昔は農耕馬が活躍する農繁期の前に、獣医がここに馬を集め健康状態を調べました。作業の主なもの、たてがみや爪の手入れ、歯の調整、それに血取りです。

歯の調整は、伸び過ぎて不ぞろいなものを金棒で焼き、気の荒々しい馬は血を抜いておとなしくしました。火やメスを使う荒作業なので、部落の男衆が総出で

木わくに馬を縛りつけたものです。獣医には1頭当たりお盆に麦2升年末には米1升5合のお礼をしました。私が覚えているのは十二・三歳のことで約70年前の話です。この作業もそれから四、五年後にはやらなくなりました。



中保の馬の血取場跡

競馬場

1日100頭が競い合う

野田口春代さん (月美町 56歳)



昭和17・8年ごろの大野町競馬場

大野の草競馬は昭和8～23年の間行われたと記憶しています。

この運営には、大野郡畜産組合が当たり、組合職員が紅1点だった私はアナウンス係でした。

うら若い娘時代の話ですが、最初マイクに臨んだときの緊張感は今もはっきりと覚えています。

競馬は年に4回、1回に4日間程連続して行われました。50～100頭の馬が出走し、1日に12レース展開されて、いつも七、八百人の観衆が競馬のだごみを楽しんだものです。出走した馬は近郷近在のものもいましたが、多くは県内・外から集まりました。中には九州から遠征してきたものもありました。ですから、競馬場近くの右近次郎・下舌区では馬主や馬の民宿になり、にぎわったものです。写真は長谷川新兵衛氏(中荒井)提供

馬清水

昔は水コンコン コイがうようよ

清水太郎右工門さん (右近次郎 63歳)

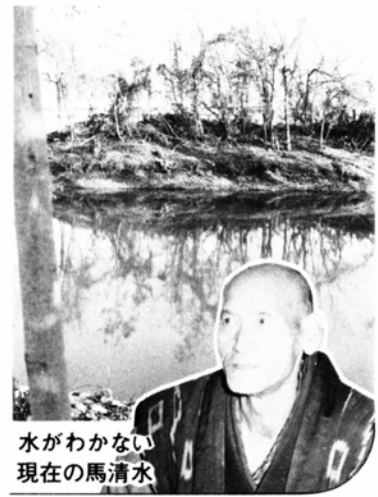
右近次郎区の子供は「馬清水」を遊び場にして大きくなりました。

50～60年前は広い雑木林の中に池があり、春から秋まではコンコンと水がわいて鏡のようにきれいな池でした。しかし、毎年11月下旬になるとわき水が止まり、一番少ないときには30センチぐらいの深さになってしま

います。子供にとって最も楽しいのはこの時期で、水が少なくなった池底をはい回り、コイやフナなどを手づかみしたものです。

また、右近次郎区民にとっては、近くに大きな清水がないので、野菜の洗い場として大いに利用しました。

この池は明治初年、上篠座一帯の田が開かれたとき、その用水池として人工的に掘られたものと考えられ名の由来については、明らかではありません。



水がわかない現在の馬清水



◆保育所入所申し込み

来年度の保育所入所申し込みは次のとおりです。

〈定員〉市・私立の各保育所で1,090人

〈入所資格〉満1歳から小学校に入学するまでの幼児で、母親がいなかったり、病気や仕事のため保育が出来ないなど保育に欠ける家庭

〈申込期間〉1月31日まで

〈手続き〉市福祉事務所または各保育所にある申請書に必要な書類を添えて最寄りの保育所または市福祉事務所へ

◆特別弔慰金受給範囲が拡大

特別弔慰金の受給範囲が10月の法改正で拡大されました。

これまでは日支事変以後の戦没者が対象でしたが、改正ではさらにさかのぼり満州事変の戦没者を含み、生計関係のあった三親等内の親族にまで請求権があります。

該当される方は市福祉事務所福祉係(6-1111内線291)へお問い合わせ下さい。

◆年賀はがきコンクール

大野公民館は年賀はがきデザインコンクールの作品を次のとおり募集しています。

〈応募資格〉大野市民

〈作品規定〉昭和53年の年賀はがきで、自作または市内の人から受け取ったもの。印刷所が印刷したものやプロの作品は除きます。

〈部門〉小・中学生部門、一般部門

〈締め切り〉1月16日(月)

〈提出先〉大野公民館

◆源泉還付申告書は1月中旬に

大野税務署では、2・3月は所得税確定申告の時期で混雑するため、源泉還付の申告書の提出は1月中旬に納税証明の請求は2月中旬までに済まされるよう望んでいます。

なお、前年還付を受けられた方へは、1月中旬までに確定申告書用紙をお送りします。

◆自衛官募集

〈資格〉18歳以上24歳未満の心身健康な男子

〈給与〉初任給月額8万3,000円

〈各種手当〉ボーナス5ヵ月分、その他扶養・寒冷地・航空機塔乗手当などを支給

〈身分〉特別職国家公務員

〈申込先〉市役所庶務課(6-1111内線222)

◆償却資産の申告お忘れなく

償却資産(事業用の機械などの資産)の所有者は、毎年1月1日現在

今月の納税

市、県民税、保険税第4期分31日までに納めて下さい。

の償却資産について市長に申告することになっていますので、1月31日までに申告して下さい。

また、昨年中に建物を取り壊した方は、その所在、面積などを同係へ同期日までに申し出て下さい。

◆成人式は15日

成人式は1月15日午前9時から市民会館で行われます。

該当者は昭和32年4月2日~33年4月1日に生まれた方々です。

栄えある門出をお祝いする式典にぜひ出席して下さい。

◆ごみ収集は週1回

市街地のごみ収集は1月5日~3月末日、可燃物、不燃物ともそれぞれ週1回になります。

収集曜日は昨年同様で、12月中にチラシでお知らせしたとおりですからご協力願います。

人事移動

12月1日付け係長級以上()内は旧任

▶保険衛生課長補佐兼環境衛生係長土谷春栄(同課環境衛生係長兼水道係長) ▶保険衛生課水道係長広瀬生実(同課)



人間の生活の中で物の始めとか終わりとかに、区切りをつける意味での行事は大切なものだと思う。

それは物事を考え、自分を振り返り、思いを新たにするチャンスを与えてくれるからである。正月は心が改まり、なんとなく厳肅な気持ちになるものだ。しかし、そう思った思いにとらわれるのも、正月というものを神事として祝賀するという、色彩の強い時代に育った年輩の人たちであろうか。若い人たちは、海外旅行に、スキーにと、言わばレジャーを楽しむための正月といったところか▼さて、ことしはウマ年「天を行くは龍(りゅう)に如(し)くは莫(な)く、地を行くは馬に如くは莫し。馬は用兵の本、国の大用なり」と言われているが、馬ほど人間の生活に深いかかわりを持った動物はいない▼戦いに、農耕に、交通に、運搬に、馬は主役を演じて来た。だが、文明が進むにつれて、その主役の座を降りることになった。それでもスポーツやサーカスなどで人間を楽しませてくれるウマ年に当たり、人間社会に大きく貢献したウマ君に感謝の念をささげたい▼天馬空を行く。それにあやかって飛躍の年でありたい。が、あまり調子に乗って飛び回ると、馬脚を現わすことにもなりかねない。世の中ウマイ事もあればウマくない事もある。人間万事塞翁(さいおう)が馬か。ともあれ人生さまだが、時として馬耳東風をきめこむ知恵を持ちたい。(D生)

風見鶏

発行 福井県大野市 編集 秘書広報課 (電話) 01111 印刷 柳松浦印刷